

第 28 回 エアロゾル科学・技術研究討論会

THE 28th SYMPOSIUM ON AEROSOL SCIENCE AND TECHNOLOGY

August 27-29, 2011
Sakai, Japan

日本エアロゾル学会
〒600-8176 京都市下京区烏丸通六条上ル北町 181
第 5 キョートビル 7 階

Japan Association of Aerosol Science and Technology
Dai 5 Kyoto Bldg., 7th F, 181 Kita-machi, Rokujo, Agaru,
Karasuma-dori, Simogyo-ku, Kyoto, 606-8176, Japan

共催

- ・ 静電気学会
- ・ 日本気象学会
- ・ 日本空気清浄協会
- ・ 日本産業衛生学会
- ・ 日本大気電気学会
- ・ 日本粉体工業技術協会
Engineering, Japan
- ・ 粉体工学会

in association with

- ・ The Institute of Electrostatics Japan
- ・ Meteorological Society of Japan
- ・ Japan Air Cleaning Association
- ・ Japan Association of Industrial Health
- ・ Society of Atmospheric Electricity of Japan
- ・ The Association of Powder Process Industry and
Engineering, Japan
- ・ The Society of Powder Technology, Japan

協賛

- ・ ISAM 日本支部会
Division
- ・ 応用物理学会
- ・ 化学工学会
- ・ 空気調和・衛生工学会
Engineering, Japan
- ・ 室内環境学会
- ・ 大気環境学会
- ・ 日本防菌防黴学会
- ・ 日本保健物理学会

in cooperation with

- ・ International Society of Aerosols in Medicine, Japan
- ・ The Japan Society of Applied Physics
- ・ The Society of Chemical Engineers, Japan
- ・ The Society of Heating, Air-Conditioning and Sanitary
Engineering, Japan
- ・ Society of Indoor Environment, Japan
- ・ Japan Society for Atmospheric Environment
- ・ The Society for Antibacterial and Antifungal Agents, Japan
- ・ Japan Health Physics Society



日 程

	A会場 (1F・117 大講義室)	B会場 (1F・118 大講義室)	C会場(1F・107 講義室)
8月27日 (土)	A. シンポジウムⅠ 10件 東アジアから輸送されるエアロゾルⅠ (9:15-12:25)	B. シンポジウムⅡ 9件 エアロゾル粒子計測技術および測定データの解析法(9:00-12:20)	ポスター掲示
	A. シンポジウムⅠ 6件 東アジアから輸送されるエアロゾルⅡ (13:30-15:25)	C. 室内エアロゾル・クリーンルーム 6件 (13:30-15:00)	
	YP. 若手ポスター発表 1分紹介 20件 (15:30-16:00)		P. ポスター討論 43件 (16:00-17:30) (若手ポスター20件を含む)
	若手討論会 (17:40-19:40)		
8月28日 (日)	D. 大気エアロゾルⅠ 9件 (9:00-11:50)	E. シンポジウムⅢ 8件 室内空間におけるナノ粒子・超微粒子の生成・挙動とその制御技術 (9:00-11:35)	ポスター掲示
	S. 特別講演 (13:00-14:00) 総会 (14:10-15:10) SS. 特別セッション 7件 (15:20-17:15) メーカー プレゼンテーション 5件 (17:20-18:10)		
	懇 親 会(会場:生協食堂)(18:30-20:30)		
8月29日 (月)	F. 大気エアロゾルⅡ 10件 (9:00-12:10)	G. 生成と性状・測定・動力学と沈着現象・生体影響 10件 (9:00-12:10)	ポスター撤去

発 表 要 領

口頭発表

- 講演時間は、質疑応答(約5分間)を含めて、一般発表・シンポジウム(展望講演を除く)ともに17分です。
- 特別セッションは講演時間5分・質疑応答10分です。

発表機材

液晶プロジェクター+PCによる発表を基本とします。ただし、実行委員会は会場に発表用PCを用意しませんので、PCを必ずご持参ください。液晶プロジェクターにはPC切替機が接続されています。ご自分の発表前に、PC切替機とPCとを接続して待機してください。PC交換などによる時間の遅れは発表時間を含め、時間の延長は行いませんのでご注意ください。セッションの始まる前に、接続と投影をテストしておいてください。なお、PCの不調等があれば受付にてご相談ください。OHPをご使用の方は、準備の都合がありますので、事前に実行委員会までご連絡ください。ご協力をお願いいたします。

ポスター発表

- ポスター掲示会場(107講義室)に8月27日15:00までにポスターを掲示してください。
- ポスターの掲示には、掲載サイズとして縦210cm幅90cmのボードを用意しております。
- 若手ポスター発表については、8月27日15:30-16:00にA会場で、PowerPointのスライド1枚を用いて1分間のプレゼンテーションをお願いします。若手ポスター発表(ベストポスター賞)へご応募される発表者は、8月27日15:00までに、USBメモリーを用い、討論会受付で所定のPCにPowerPointファイルを入力してください。ご自分のPCを用いての1分間プレゼンテーションはできません。また、発表中の操作は若手会で行います。ご協力をお願いいたします。1分紹介の後、16:00~17:30の間ポスターボードの前にお立ちください。
- 一般のポスター発表については、PCを用いた1分間の紹介はありません。8月27日16:00~17:30の間、ポスターボードの前にお立ちください。

プログラム

- 講演時間は、質疑応答（約5分間）を含めて、一般発表・シンポジウム（展望講演を除く）17分
- 特別セッションは、講演時間5分・質疑応答10分
- 若手ポスター発表は、講演のみ1分間
- *印は未発表の研究、**は既往研究のまとめ、***は既発表の研究

第1日目 8月27日（土）
A会場（117大講義室）

シンポジウム I

－東アジアから輸送されるエアロゾルプロセスと影響－

- (9:15-12:25) (座長 Wuled Lenggoro・藤本敏行・兼保直樹・奥田知明)
- A01* 異なる温度と圧力によるSO₂/H₂O/N₂混合ガスのイオン誘発核生成の測定
(広島大学) ○Muhammad Miftahul Munir・荻 崇・奥山喜久夫
- A02* 光反応によるSO₂/H₂O/Air混合ガスからの二次粒子生成における高度の影響の評価
(室蘭工業大学) ○小田昂樹・會田真悟・山中真也・藤本敏行・空閑良壽
- A03* エアロゾル前駆体評価のためのオゾン反応性の定量分析
(首都大学東京) ○松本 淳
- A04* PM10/PM2.5質量濃度測定用バーチャルインパクトの分級特性評価と固定発生源実測への適用
(工学院大学) ○並木則和
(東京農工大学) 新井美葉・塚田まゆみ・神谷秀博
(石川工業高等専門学校) 和田匡司
(ウィーン大学) W. W. Szymanski
- A05* 異なる構造の希釈器を用いた固定発生源からの凝縮性ナノ粒子生成・排出挙動の評価
(東京農工大学) ○関澤知哉・羽田健太郎・山田真以子・濱 尚矢・塚田まゆみ・Wuled Lenggoro・神谷秀博
(電力中央研究所) 野田直希・牧野尚夫
- A06* インドネシア・ジョグジャカルタ市におけるエアロゾル中水溶性イオン成分の測定
(慶應義塾大学) ○ロニマルヤナ・奥田知明・田中 茂
(ガジャマダ大学) スリジュアリサントサ
- A07* HVI2.5付ハイボリューム・エアサンブラによる福岡のPM2.5中金属成分の日毎・通年観測
(産業技術総合研究所) ○兼保直樹・(福岡県保健環境研究所) 山本重一
(東京農工大学) 畠山史郎・吉野彩子・白 亮・鈴木亮太
- A08* わが国バックグラウンド域におけるPM2.5中炭素系粒子の観測
(産業技術総合研究所) ○兼保直樹・村山昌平
(島根県保健環境科学研) 佐川竜也・田部貴大
(北海道立総合研究機構) 野口 泉
(福岡大学) 原 圭一郎・林 政彦
(東京農工大学) 島田幸治郎
(埼玉県環境科学国際センター) 長谷川就一
- A09* 2010年12月の東シナ海上空における航空機観測でのエアロゾル金属成分
(東京農工大学) ○畠山史郎・白 亮・花岡小百合・池田圭輔・渡邊 泉

- (琉球大学) 新垣雄光・畦地総太郎
(大阪府立大学) 定永靖宗・藤原 大
(熊本県立大学) 張 代洲・原 和崇
(首都大学東京) 加藤俊吾
(広島大学) 奥山喜久夫・荻 崇・李 信榮・筒井 亮
(室蘭工業大学) 藤本敏行
(金沢大学) 瀬戸章文・黒宮悠祐・中島秀介
(国立環境研究所) 清水 厚・杉本伸夫・高見昭憲
- A10* 東アジア都市域エアロゾル中無機化学成分の特徴
(慶應義塾大学) ○奥田知明・ロニマルヤナ・山口大介・田中 茂
(東京農工大学) 高田秀重・畠山史郎
(東京薬科大学) 熊田英峰
(東京大学) 中島典之
(国立環境研究所) 内田昌男
(ガジャマダ大学) Sri Juari Santosa
(清華大学) 賀 克斌・馬 永亮・梁 林林
- A11* 福岡で観測された越境輸送および都市大気エアロゾルの化学組成
(国立環境研究所) ○高見昭憲・伊禮 聡・三好猛雄・佐藤 圭
(江線科学研究所) 下野彰夫・疋田利秀
(福岡大学) 原 圭一郎・林 政彦
(産業技術総合研究所) 兼保直樹
(東京農工大学) 畠山史郎

－休 憩65分－

シンポジウム I 続き

－東アジアから輸送されるエアロゾルプロセスと影響－

- (13:30-15:25) (座長 佐藤啓市・伊禮 聡)
- A12* 札幌に長距離輸送される光吸収性エアロゾルの季節別発生源解析
(北海道大学) ○安永浩祐・山形 定・村尾直人・太田幸雄
- A13* 東シナ海における光学的吸収係数の連続測定とその解析
(北海道大学) ○小濱大輔・山形 定・村尾直人・太田幸雄
(産業技術総合研究所) 兼保直樹
(千葉大学) 高村民雄
- A14* 2009年春福江島で観測された越境輸送エアロゾルの化学組成
(国立環境研究所) ○伊禮 聡・高見昭憲・佐藤 圭
(江線科学研究所) 疋田利秀・下野彰夫
(産業技術総合研究所) 兼保直樹
(東京農工大学) 畠山史郎
- A15* ウランバートルの森林衰退地域における大気エアロゾルの汚染特徴
(アジア大気汚染研究センター) ○佐藤啓市・家合浩明・佐瀬裕之・山下尚之・大泉 毅
(モンゴル中央環境計測研) Barkhasragcha Baldorj
- A16* タイ国サケラートにおける熱帯林への粒子状炭素の乾性沈着

(明星大学) ○松田和秀・三宅貴史
(北海道大学) 村尾直人・深澤達矢
(酸性雨研究センター) 佐瀬裕之

一休 憩 5分ー

ー若手ポスター(ベストポスター賞)1分紹介ー

- (15:30-16:00) (座長 長谷川就一)
- YP01* リセプターモデルを用いた有機エアロゾル質量スペクトルの解析の事前検証
(日本自動車研究所) ○萩野浩之・森川多津子
- YP02* (発表辞退)
- YP03* 可搬型放射計を用いた大気エアロゾルのローカル変動モニタリング
(近畿大学) ○中野富夫・佐野 到・向井苑生
- YP04***赤道域の上部対流圏、成層圏におけるエアロゾル中非揮発性成分の鉛直分布ーインドネシアBiak島における気球観測ー
(福岡大学) 林 政彦・○長沼 歩・原圭一郎・原 直子
(名古屋大学) 柴田 隆
- YP05* 大気中ナノ粒子の季節変動特性の考察
(金沢大学) ○鮎 林発・畑 光彦・高下直人・谷井俊寛・古内正美・大谷吉生
- YP06* 夏季と冬季に六甲山で採取したエアロゾルの個別粒子分析
(神戸大学) ○向井将平・大串健一
- YP07* 2010年に福江島、福岡市で測定した多環芳香族炭化水素とn-アルカン
(東京農工大学) ○小川佳美・吉野彩子・畠山史郎
(産業技術総合研究所) 兼保直樹
(国立環境研究所) 佐藤 圭・高見昭憲
- YP08* 2010年12月の東シナ海上空における航空機観測
(東京農工大学) ○池田圭輔・白 亮・花岡小百合・渡邊 泉・畠山史郎
(琉球大学) 新垣雄光・畦地総太郎
(大阪府立大学) 定永靖宗・藤原 大
(熊本県立大学) 張 代洲・原 和崇
(首都大学東京) 加藤俊吾
(広島大学) 奥山喜久夫・荻 崇・李 信榮・筒井 亮
(室蘭工業大学) 藤本敏行
(金沢大学) 瀬戸章文・黒宮悠祐・中島秀介
(国立環境研究所) 清水 厚・杉本 伸・高見昭憲
- YP09* 沖縄辺戸岬におけるPM2.5とPM10における有機物エアロゾルの特徴
(東京農工大学) ○島田幸治郎・畠山史郎
(国立環境研究所) 高見昭憲・伏見暁洋
(埼玉県環境科学国際センター) 長谷川就一
(首都大学東京) 梶井克純・加藤俊吾
- YP10* 長距離輸送中における全硝酸($\text{HNO}_3(\text{g})+\text{NO}_3(\text{p})$)および総反応性窒素酸化物(NO_x)の濃度変動解析
(大阪府立大学) ○弓場彬江・定永靖宗・増井嘉彦・竹中規訓・坂東 博
(国立環境研究所) 高見昭憲・大原利真・横内陽子
(東京農工大学) 畠山史郎
(農業環境技術研究所) 米村正一郎
(首都大学東京) 加藤俊吾・梶井克純
- YP11* 湿性・乾性沈着した鉱物質ダスト粒子のFe/Ti重量比
(名古屋大学) ○浦 幸帆・長田和雄
(東京大学) 植松光夫
- YP12* カンボジア都市部の大気環境の現状と特性
(金沢大学) ○金児将宏・古内正美・畑 光彦・塚脇真二
(カンボジア教育学研究所) Lim Kannitha

- (アンコール遺跡整備公団) ブゥハン
(カンボジア鉱工業エネルギー省) ソタムシエン
- YP13* 熊本市における空中浮遊細菌数の計測
(熊本大学) ○林田怜子・本多亮太・市下正憲・小島知子
- YP14* 2011年度のさいたま市に飛来したスギ花粉の飛散挙動
(埼玉大学) ○仲村慎一・王 青躍・ゴン秀民・森田 淳・中島拓也・鈴木美穂・関口和彦
(国立環境研究所) 中島大介
- YP15* 日本の森林樹種に対するブラックカーボン粒子の影響に関する実験的研究
(東京農工大学) ○竹田健太・大谷葉子・半 智史・山根健一・山口真弘・Wuled Lenggoro
(森林総合研究所) 矢崎健一・野口享太郎・黒田克史
(アジア大気汚染研究センター) 佐瀬裕之
(北海道大学) 佐野雄三・村尾直人
(京都大学) 石田 厚
(東京農工大学) 船田 良・伊豆田猛
- YP16* バイオマスと石炭の混焼から発生する粒子状汚染物質
(チュラロンコン大学) ○パッタラポーンサーティウ・アチャリヤースリヤウォン
(金沢大学) 畑 光彦・鮎 林発・池本良子・古内正美
- YP17* 木質バイオマス・低質石炭混焼排ガス中の粒子と多環芳香族炭化水素類の特性
(プリンスオブソククラ大学) ○ウォラチャラジュンパ・スラジットテカサクル・ペラボンテカサクル
(金沢大学) 畑 光彦・古内正美
- YP18* 加速器照射室内に生成する放射性エアロゾルの生成機構ー放射性核種の半減期と粒径との関係ー
(京都大学) ○長田直之・関本 俊・沖 雄一・柴田誠一
- YP19* 拡散荷電を用いた浮遊繊維状粒子の粒子長さに関する研究
(国立環境研究所) ○藤谷雄二
- YP20***ナノ粒子材料製造環境における作業環境評価用サンブラの超微粒子捕集性能評価
(工学院大学) ○大須賀裕一・並木則和
(国立保健医療科学院) 鍵 直樹
(住化分析センター) 藤井博史・吉田寧子
- YP21* 独立電源型PM2.5捕集装置の開発
(慶應義塾大学) ○松浦慎一郎・奥田知明・田中 茂

ーポスター発表(107講義室)ー

(16:00-17:30)

- P01* 東京理科大学総合研究機構山岳大気研究部門の紹介
(東京理科大学) ○三浦和彦
- P02* 立山における霧水化学および大気エアロゾルの観測
(富山県立大学) ○渡辺幸一・西元大樹・岩間真治
小森 静・石田幸恵
(富山市科学博物館) 朴木英治
- P03* 沖縄県辺戸岬における東アジアに由来する多環芳香族炭化水素類の長距離輸送
(東京農工大学) ○吉野彩子・小川佳美・畠山史郎
(東京大学) 中山寛康
(国立環境研究所) 高見昭憲・佐藤 圭
- P04* 日本へのダスト沈着量分布と沈着過程
(名古屋大学) ○長田和雄・浦 幸帆・香川雅子
(気象研究所) 三上正男・田中泰宙
(北海道大学) 的場澄人
(富山大学) 青木一真
(鳥取大学) 篠田雅人・黒崎泰典
(福岡大学) 林 政彦

- (国立環境研究所) 清水 厚
(東京大学) 植松光夫
- P05* アジア鉱物ダスト粒子のCCN能力とその雲粒生成に対する影響
(気象研究所) ○山下克也・村上正隆・橋本明弘・田尻拓也
- P06* 春季の瀬戸内海沿岸部における大気エアロゾルの化学的特徴
(香川工業高等専門学校) ○中村篤博・井上和孝
- P07* 粒子状物質濃度の時間変化に及ぼす気象変化の影響
(東京ダイレック) ○曹 仁秋・牧野国義・佐藤珠紀
- P08* 降雨と降雪による海塩粒子の取り込み過程の相違
(電力中央研究所) ○大原 信・藤田慎一・杉本聡一郎・高橋 章
(東北電力) 坂田 学
- P09* 黄砂現象に伴う浮遊細菌数濃度及び生菌率の変化
(熊本県立大学) ○原 和崇・張 代洲
- P10* 木質バイオマス燃焼排ガス中粒子に及ぼす燃焼条件の影響
(金沢大学) ○畑 光彦・森下和輝・鮎 林発・古内正美
- P11* 大気硫酸塩エアロゾルのNanoSIMS分析
(熊本大学) ○小島知子
(ジョンソンスペースセンター) スコットメッセンジャー
- P12* 混合状態における黒色炭素粒子光学特性の測定
(京都大学) ○山崎宗彦・川本奈穂・東野 達・奥村智憲
- P13* レーザー誘起蛍光法を用いた大気エアロゾル粒子の測定
(海洋研究開発機構) ○竹谷文一・金谷有剛
(富士電機システムズ) 中村貴之
(東京大学) 茂木信宏・竹川暢之
- P14*** 粒子状硝酸塩連続測定装置の開発
(大阪府立大学) ○定永靖宗・弓場彬江・今林弘毅・竹中規訓・坂東 博
(国立環境研究所) 高見昭憲
(紀本電子工業) 鈴江崇彦・紀本英志・紀本岳志
(東京農工大学) 畠山史郎
- P15* 気相浮遊ナノ粒子の高感度化学組成計測に関する研究
(関西大学) ○大槻貴志・川端剛史・岡田芳樹
- P16* 噴霧熱分解法を用いたチタニア光触媒粒子の作製と光触媒評価
(京都大学) ○河原崎光・松原岳夫・東野 達
(筑波大学) 鈴木義和
- P17* 試験所間比較のためのシリカナノ粒子のエアロゾル粒子化の検討
(産業技術総合研究所) ○高畑圭二・榎原研正
- P18* ウェーハ表面検査装置の校正用標準試料としてのシリカナノ粒子の予備的検討
(産業技術総合研究所) ○高畑圭二・榎原研正
(日立ハイテクノロジーズ) 三ツ井英男・井古田まさみ・太田英夫
- P19* インクジェット式エアロゾル発生器の開発
(産業技術総合研究所) ○飯田健次郎・桜井 博・斎藤敬三・榎原研正
- P20* 凝縮粒子計数器(CPC)の短期加速耐久試験
(東京ダイレック) ○濱 尚矢・船戸浩二
(産業技術総合研究所) 桜井 博
- P21* CPCやAEの流量校正における石鹸膜式流量計の測定誤差の検討
(東京ダイレック) ○船戸浩二・濱 尚矢
(産業技術総合研究所) 桜井 博
- P22* 圧力測定による屋内外気流変動の測定
(東京工業大学) ○諏訪好英・糸 知里・藤井修二

- P23* Physicochemical characteristics of the particulate matters collected at an underground subway station
(福岡女子大学) ○Chang-Jin Ma
(岩手医科大学) Koichiro Sera
(Won-Kwang Health Sci. College) Gong-Unn Kang
(Sejong Univ.) Ki-Hyun Kim
(Cheju National Univ.) Chang-Hee Kang
(Dong-A Univ.) Kum-Chan Choi

一休 憩10分

— 若手討論会 (117大講義室) —
(17:40-19:40)

第 1 日目 8月27日 (土)
B会場 (118大講義室)

シンポジウム II

— エアロゾル粒子計測技術および測定データの解析法 —

- (9:00-12:20) (座長 長門研吉・飯田健次郎)
- B01** (展望講演) ナノ粒子エアロゾル荷電の最近の研究
(大阪府立大学) ○足立元明
- B02* 大気エアロゾル帯電粒子捕集装置の開発
(創価大学) ○羽田野貴之・山崎慎一郎・桑田正彦
(東京農工大学) 山田洋介・Wuled Lenggoro
- B03* (展望講演) 自由分子領域における粒子径の計測に関する研究
(関西大学) ○岡田芳樹
- B04*** エアロゾル質量分級装置 (Aerosol Particle Mass Analyzer) の開発と測定事例
(日本カノマックス) ○田島奈穂子・福嶋信彦
(産業技術総合研究所) 桜井 博・榎原研正
- B05*** タンデムエアロゾルシステムによるカーボン粒子の密度および屈折率の測定
(広島大学) ○李 信榮・萩 崇・奥山喜久夫
- B06* 単一エアロゾル水滴のレーザー捕捉・顕微ラマン分光法における湿度制御に関する検討
(北海道大学) ○山内邦裕・石坂昌司・喜多村昇
- B07* ディーゼル起源ナノ粒子内部混合状態の新しい計測法
(国立環境研究所) ○藤谷雄二
(工学院大学) 坂本哲夫
(東京工業大学) 三澤健太郎
- B08* 質量分析計を用いたエアロゾル組成のオンライン計測
(東京大学) ○竹川暢之
- B09* 大気エアロゾル個数濃度の時間変化における異常検出に関する研究
(防衛省・東京工業大学) ○岡田匡史
(東京工業大学) 藤井修二
(帝京平成大学) 林 譲

一休 憩65分

— 室内エアロゾル・クリーンルーム —

- (13:30-15:25) (座長 鍵 直樹・諏訪好英)
- C01*** 低境界風速における空間分煙効果の維持向上
(工学院大学) ○宇田貴裕・並木則和
(国立保健医療科学院) 鍵 直樹
- C02* プラズマと光触媒融合技術による空気清浄装置
(インパクトワールド) ○林 祐二

- (ユービックス) 森戸裕幸
(神奈川科学アカデミー) 落合 剛
(東京理科大学) 藤嶋 昭
- C03* 喫煙室用プラズマ脱臭機の開発と環境負荷性能について
(日鉄鉱業) ○瑠樹伸彦
(東京工業大学) 藤井修二・森 康祐
(国立保健医療科学院) 鍵 直樹
- C04* 非一方向流型クリーンルームの清浄度回復試験における測定箇所を選定法
(大林組) ○諏訪好英
- C05* 電界中でイオナイザ照射したガラス基板の表面電位—表面電位評価の再現性向上について—
(東京工業大学) ○陳 偉光・藤井修二
(サムスン電子・東京工業大学) 関 太泓
(大林組) 諏訪好英
(村田機械) 林 孝雄・松葉克己
- C06* ガラス基板表面付着粒子の粒径・屈折率の広領域可視化測定法
(日建設計・東京工業大学) 高次兼司
(東京工業大学) ○佐々木香枝, 藤井修二
(大林組・東京工業大学) 諏訪好英

- (福岡大学) ○原 圭一郎
(国立極地研究所) 平沢尚彦・山内 恭・和田 誠
(AWI) A. Herber・ANTSYO-II members
- D09* 大気エアロゾルの多様性に対応できる軽くて正確な動力学モデルの開発
(気象研究所) ○梶野瑞王
- 休 憩60分 —
— 特別講演 —
- (13:00-14:00) (座長 島山史郎)
- S01* 植物に対する越境大気汚染物質の影響
(東京農工大学) ○伊豆田猛
- 休 憩10分 —
— 総会 —
(14:10-15:10)
— 休 憩10分 —
— 特別セッション —

第2日目 8月28日(日)
A会場(117大講義室)

— 大気エアロゾル I —

- (9:00-11:50) (座長 長田和雄・松木 篤)
- D01* 2011年3月につくば市で観測されたエアロゾル態放射能
(気象研究所) ○五十嵐康人・梶野瑞王
(京都大学) 長田直之・沖 雄一
(東京ニュークリアサービス) 武田智津子
- D02* つくばで採取した放射性エアロゾル粒子—イメージング・プレートを用いた解析—
(名古屋大学) ○長田和雄・西澤邦秀
(気象研究所) 五十嵐康人
- D03* 福島第一原子力発電所事故以降の堺市で観測した放射性エアロゾルの濃度変化
(大阪府立大学) ○伊藤憲男
- D04* 立山地域(標高2,450m, 標高1,180m)における揮発性有機化合物(VOCs)調査
(富山高等専門学校) ○鳥山成一
(富山県環境科学センター) 近藤隆之・木戸瑞佳
(富山大学) 中谷訓幸
(国立環境研究所) 田中 敦・西川雅高
- D05* ヘリコプターを利用した富山県上空の過酸化水素濃度の測定
(富山県立大学) ○渡辺幸一・岩間真治・江田奈希紗・齋藤由紀子・西元大樹・石田幸恵
- D06* 暖候期高知上空における大気エアロゾルと雲形成
(気象研究所) ○村上正隆・山下克也・折笠成宏・斉藤篤思・財前祐二・酒井 哲
- D07* 北極域対流圏に長距離輸送される大陸起源エアロゾル: POLARCAT春季航空機観測から
(金沢大学) ○松木 篤
(ブレース・パスカル大学) A. シュワルツェンボック・B. クエネヘン・J-F. ガイエ・G. フェブル・C. ゴウベール
(オパール海岸リトラル大学) K. デュボット
- D08* 昭和基地周辺で観測された大陸縁部から海氷縁海域のエアロゾル空間分布

- (15:20-17:15) (座長 三浦和彦)
- SS01* ナノカーボンが創る新しいエアロゾルの世界
(金沢大学) ○井上 歩・瀬戸章文・大谷吉生
- SS02* 黄砂に伴う微生物の拡散
(熊本県立大学) ○張 代洲・原 和崇・松崎弘美
(金沢大学) 柿川真紀子・岩坂泰信
(中国農業大学) 袁 紅莉・張 螢・時 妍凝
(中国国家海洋局第一海洋研究所) 王 能飛・蔵 家業
- SS03* 新しい計測手法を用いたエアロゾル光学特性の研究
(名古屋大学) ○中山智喜・松見 豊
- SS04*** 東アジアから琉球諸島に長距離輸送された大気エアロゾルに含まれる水溶性陰イオンおよび水溶性有機炭素の時・空間分布分析
(琉球大学) ○柚田有加・畦地総太郎・仲栄真史哉・半田大士・伊集盛昭・新垣雄光・棚原 朗・古川雅英
- SS05* 室内環境中における二次生成ナノ粒子の存在
(埼玉大学) ○工藤慎治
- SS06* ディーゼルナノ粒子の内部混合状態計測への挑戦
(国立環境研究所) ○藤谷雄二
(工学院大学) 坂本哲夫
(東京工業大学) 三澤健太郎
- SS07* 可視化手法を用いたブラックカーボン粒子の樹木葉への吸着機構の解明
(東京農工大学) ○半 智史・山根健一・大谷葉子・竹田健太・山口真弘・Wuled Lenggoro・伊豆田猛・船田 良
(森林総合研究所) 黒田克史
(北海道大学) 佐野雄三
- 休 憩5分 —
— メーカー・プレゼンテーション —
(17:20-18:10) (座長 伊藤憲男)

第2日目 8月28日(日)
B会場(118大講義室)

シンポジウムⅢ

ー室内空間におけるナノ粒子・超微粒子の生成・
挙動とその制御技術ー

(日本バイリーン) ○谷口一歩・田中広志
(工学院大学) 並木則和
(国立保健医療科学院) 鍵 直樹

- (9:00-11:35) (座長 並木則和・東 賢一)
- E01*** 家庭用品由来揮発性有機化合物からの二次粒子生成
(その1) ガスバッグおよび模擬居室を用いた検証
(工学院大学) ○並木則和
(国立保健医療科学院) 鍵 直樹
(芝浦工業大学) 西村直也
(埼玉大学) 関口和彦
(近畿大学) 東 賢一
(テクノ菱和) 田村 一
(東京工業大学) 中川央絵・塩原 緑・諏訪好英・
藤井修二
- E02*** 家庭用品由来揮発性有機化合物からの二次粒子生成
(その2) パラジクロロベンゼン単成分蒸気からの
ISOA生成の可能性
(国立保健医療科学院) ○鍵 直樹
(工学院大学) 並木則和
(埼玉大学) 関口和彦・(近畿大学) 東 賢一
(テクノ菱和) 田村 一
(東京工業大学) 中川央絵・塩原 緑・諏訪好英・
藤井修二
- E03* チャンバーを用いた室内環境条件での二次有機粒子生成
に関する研究
(埼玉大学) ○工藤慎治・関口和彦・坂本和彦
(東京工業大学) 藤井修二
(工学院大学) 並木則和
(国立保健医療科学院) 鍵 直樹
(芝浦工業大学) 西村直也
(近畿大学) 東 賢一
(大林組) 諏訪好英
(テクノ菱和) 田村 一
- E04* 二次粒子生成過程における超微粒子の粒径分布変化に
関するモデリングと数値シミュレーション
(東京工業大学) ○諏訪好英・藤井修二
(工学院大学) 並木則和
(国立保健医療科学院) 鍵 直樹
(芝浦工業大学) 西村直也
(埼玉大学) 関口和彦
(近畿大学) 東 賢一
(テクノ菱和) 田村 一
- E05*** ナノ粒子による生体影響と健康リスク
(近畿大学) ○東 賢一
(工学院大学) 並木則和
(国立保健医療科学院) 鍵 直樹
(埼玉大学) 関口和彦
(東京工業大学) 諏訪好英・藤井修二
(テクノ菱和) 田村 一
(芝浦工業大学) 西村直也
- E06* 静電霧化によって生成するナノ液滴の帯電量と粒径制御
(金沢大学) ○宮本慎吾・川村和生・瀬戸章文・大谷吉生
(パナソニック電工) 山内俊幸・前川哲也
- E07*** レーザープリンタから発生する超微粒子の生成機構の
検討
(工学院大学) ○並木則和
(国立保健医療科学院) 鍵 直樹
(埼玉大学) 関口和彦
(芝浦工業大学) 西村直也
(近畿大学) 東 賢一
(テクノ菱和) 田村 一
(東京工業大学) 諏訪好英・藤井修二
- E08*** 不織布ろ材の超微粒子に対する除去特性の検討および
プリンタへの応用

第3日目 8月29日(月)
A会場(117大講義室)

ー大気エアロゾルⅡー

- (9:00-12:10) (座長 原野安土・関口和彦)
- F01* 海塩エアロゾルとNO₂の反応機構の解明(第2報)
(群馬大学) ○伊藤優作・相馬岳史・石坂靖志・
原野安土
- F02* Mg(NO₃)₂・6H₂Oの吸湿性と潮解固化挙動の解明
(群馬大学) ○吉田早織・相馬岳史・原野安土
- F03* MRI雲生成チェンバーによるエアロゾルの間接効果に
関する実験的研究
(気象研究所) ○田尻拓也・山下克也・村上正隆
- F04* ヨウ素滴定法による二次有機エアロゾル中のオキシダ
ントの測定(II)
(国立環境研究所) ○佐藤 圭・藤谷雄二・
瀬田孝将・今村隆史・高見昭憲
- F05* 三次元偏光光学系EDXRFを用いた大気粉塵中微量金
属成分濃度の測定
(慶應義塾大学) ○山口大介・奥田知明・田中 茂
(清華大学) 賀 克斌・馬 永亮・梁 林林
- F06* 交差点付近の道路近傍におけるPM_{0.1}とPM_{2.5}の化学
成分に関する研究(1)ー炭素成分の挙動ー
(埼玉大学) ○関口和彦・金 庚煥・工藤慎治・
木下勝利史・王 青躍
- F07* 交差点付近の道路近傍におけるPM_{0.1}とPM_{2.5}の化学
成分に関する研究(2)ーイオン成分の挙動ー
(埼玉大学) ○金 庚煥・関口和彦・工藤慎治・
木下勝利史・王 青躍
- F08* 札幌におけるオゾンおよび光吸収性エアロゾルの同時
測定
(北海道大学) ○住田功太郎・山形 定・村尾直人・
太田幸雄
(国立環境研究所) 内山政弘
- F09* 初冬期のつくばにおける粒子状物質濃度の鉛直分布に
ついてー係留気球観測
(電力中央研究所) ○速水 洋・香月壮亮・藤田慎一
(国立環境研究所) 森野 悠・大原利真
(筑波大学) 栗林正俊
(東京理科大学) 三浦和彦・桐山悠祐・田村勇一
- F10* 初冬期のつくばにおける粒子状物質濃度の鉛直
分布についてー再現計算結果
(電力中央研究所) ○嶋寺 光・速水 洋
(国立環境研究所) 森野 悠・大原利真
(豊田中央研究所) 茶谷 聡

第3日目 8月29日(月)
B会場(118大講義室)

ー生成と性状・測定・動力学と沈着現象・
生体影響ー

- (9:00-12:10) (座長 松坂修二・木下卓也)
- G01* 超音波噴霧熱分解法による金酸化鉄複合ナノ粒子の合
成
(大阪府立大学) ○渡邊周二・谷 俊之・木下卓也・

